

# 中2シンガポール修学旅行を終えて

2年ぶりに中2シンガポール修学旅行に行ってきました。1月10~15日（5泊6日）で、生徒35名、教員4名、添乗員1名の40名の旅でした。

今回の修学旅行の大きな変更点は、2泊3日のホームステイをやめて、遺愛の宣教師であるウイー先生の出身教会（ウイー先生のお父さんはこの教会の牧師をしています。）の中学生・高校生とのオールイングリッシュでの1日交流を行うことでした。全く初めてのことで、上手く交流できるかどうか心配でしたが、全くの杞憂でした。教会の方でも、一生懸命に交流プログラムを用意して下さい、遺愛生の方でも『福笑い』やイカ踊りなどを披露して、共に積極的にコミュニケーションをはかり、とても楽しいひと時を過ごしました。

天気は全日程晴れで最高気温33℃、熱帯地方特有のスコールは屋内でのプログラムや食事中に降り、雨にあたることはありませんでした。動物園、植物園、水族館も満喫しました。イスラム寺院であるサルタンモスクを訪れ、イスラム教式の礼拝の姿を生徒達は興味深そうに見ていました。また、日系企業のヤクルト工場を見学しました。副専務取締役の植田さんのユーモアに富んだ説明は、長時間のフライトのため寝不足で疲れ気味の生徒にもとても好評で眠気も吹き飛びました。最終日は、シンガポール大学の学生と共に街の自由見学を楽しみました。食事は、チリクラブ、チキンライスなどシンガポール名物を堪能しました。ホテルも新しく、安全で快適で、朝食のビュッフェもとてもおいしくいただきました。

成田からシンガポールに向かう時の飛行機が機材の関係で1時間半遅れで出発したのが唯一のアクシデントでしたが影響はありませんでした。数人の生徒が発熱、腹痛、頭痛などを訴えましたが、素敵なホテルで1晩眠ると見事に元気を回復し、とても楽しく充実した修学旅行となりました。



コンサートのような礼拝でした。



マーライオンパークで記念写真



サルタンモスク前で記念写真



サズ' スカイパーク 200m 上空でのカマメー

2019年  
1月18日